

平成29年12月22日

愛知県道路メンテナンス会議 事務局
国土交通省中部地方整備局 名古屋国道事務所
愛知県 建設部 道路維持課
名古屋市 緑政土木局 道路建設部 道路建設課
中日本高速道路(株) 名古屋支社 名古屋保全・サービスセンター

【愛知県道路メンテナンス会議】

平成29年度 第2回 会議を開催します

～道路の老朽化対策の状況等について～

～県内各地で「道路老朽化対策」パネル展開催～

愛知県道路メンテナンス会議は、道路インフラの予防保全・老朽化対策の体制強化を図るために平成26年度に設立され、道路橋等の点検計画策定や現地点検講習会等に取り組んできました。

今回、下記のとおり「平成29年度 第2回愛知県道路メンテナンス会議」を開催します。

また、「道路老朽化対策」パネル展を開催しますので併せてお知らせします。

- 1. 日 時** 平成29年12月26日(火) 13:30～15:00 (予定)
 - 2. 場 所** 愛知県図書館 5階 大会議室 (名古屋市中区三の丸一丁目9-3)
(別紙地図参照)
 - 3. 会議の内容(予定)**
 - 議 事
 - (1)道路の老朽化対策の状況について
 - (2)メンテナンス関係費用について
 - (3)市町村支援について
 - 意見交換
 - 4. 会議の組織** 中部地方整備局、愛知県、名古屋市、県内53市町村、中日本高速道路(株)、愛知県道路公社、名古屋高速道路公社、(公財)愛知県都市整備協会
 - 5. その他**
 - ・当日の傍聴は議事終了までとさせていただきます。
 - ・ご質問等については、議事終了後に対応させていただきます。
 - ・本会議の撮影は、会議冒頭まで(頭取り)とさせていただきます。
 - 6. パネル展** パネル展の会場については別紙を参照してください。
- ◆備 考 資料解禁 特になし
配布先 中部地方整備局記者クラブ
- ◆問合せ先 国土交通省中部地方整備局 名古屋国道事務所
みずの よしひろ
担当:副 所 長 水野 良浩
やまうち まさひこ
総括保全対策官 山内 昌彦
電話:052-853-7320
- 愛知県建設部道路維持課 予防保全グループ
いとう しんご
担当:課 長 補 佐 伊藤 慎悟
ダイヤルイン 052-954-6696 内線2737

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910** (通話料無料・24時間受付)

■案内図■



愛知芸術文化センター 愛知県図書館

〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目9-3

電話 (代表) (052) 212-2323

調査相談電話 (052) 212-3200

URL <http://www.aichi-pref-library.jp>

「道路老朽化対策」パネル展を開催します(愛知県分) ～高齢化する道路施設を次世代に引き継ぐために～

1. パネル展の主な内容

高度経済成長期に集中的に整備された道路施設は、急速に高齢化が進んでおり、点検と修繕を行って次世代へ引き継いでいくことが必要とされています。

道路インフラが置かれている状況や道路の老朽化対策の取り組みについて、広く皆様にご紹介するためパネル展を実施いたします。

2. 開催場所と時期 (1、2、3月の予定)

大府市役所 1Fフロア

1月16日～1月29日

蟹江町中央公民館分館 1F

1月30日～2月16日

蒲郡市図書館 1F

3月 6日～3月13日

進む橋梁の高齢化

重大な損傷も発生

三重県・木曾川大橋でトラス鋼材が破断

2007年6月20日、国道23号の「木曾川大橋」で、道路を支える鋼材の破断を職員が発見しました。

この橋梁では1日に6万台を超える交通量があり、中部圏の大動脈として、地域の経済活動と生活に重要な役割を果たしていました。発見の翌日から緊急対策工事のため、約4カ月間も車線規制が行われ、国道23号のみならず、周辺地域の交通に大きな影響がでました。木曾川大橋はその後、本格的な修繕工事が行われ、安全性は確保されています。

■木曾川大橋 橋長858m 1963年架設



破断した鋼材、上下が完全に分離している



破断が発見された翌日に緊急対策工事に入っ



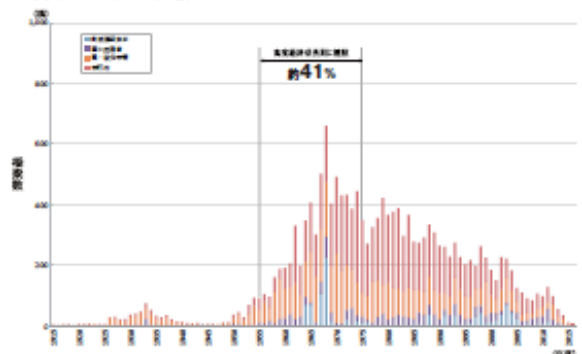
修繕後の状況(出て現場事務所にて撮影)

愛知県内の橋梁も高齢化

建設後50年超が23%

愛知県には国と県・政令市等と市町村と高運が管理する橋長2m以上の橋梁は約26,000橋、このうち建設後50年を経過する橋梁が、2017年3月末時点で23%あります。しかし、高度経済成長期に建設された橋梁が多く、20年後には高齢化した橋梁の割合は68%に急増します。

愛知県内の年度別建設橋梁数 (橋長2m以上、2017年3月末時点)



愛知県内の建設後50年を経過した橋梁の割合 (橋長2m以上、2017年3月末時点) (国・県別)

